

## 道徳の時間で活用する ～家族愛、家庭生活の充実～

周南市立岐陽中学校 小松 義明

### 1 本場面におけるポイント

- 「僕」の思いを考えることを通して、家族を大切に思う気持ちを感じ、家族の一員としての自覚や家族のかけがえのなさを改めて感じる。

### 2 授業の実際

1 主題名 家族愛 「資料名 一冊のノート」

2 ねらい

かけがえのない子どもとして深い愛情をもって育ててくれた家族に対して敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもたせる。

3 展開

(1) 導入 家族についてのイメージを表出させる。

教師：「家族」といったら、どんなことをイメージしますか？

生徒A：父、母、兄弟。

生徒B：優しい。

生徒C：大切なもの。



□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

導入では、黒板に「めあてカード」を提示し、本時の主題を明確にする。次に教師が本文を範読するとともに、ICT機器を活用して、スクリーンに場面を提示する。

(2) 展開 黙って祖母と並んで草取りを始めた僕の気持ちを考えさせる。

教師：黙って祖母と並んで草取りを始めたのはどのような気持ちからだろう。個人で考えた後に、話し合っグループで発表してもらいます。

Aグループ：(今まで自分がおばあちゃんに対して取っていた態度を思い出し) 今度は自分がおばあちゃんを助ける番だ。

Bグループ：自分は、ずっと迷惑かけてきたので、これからは、自分が祖母を支えていきたい。

↓

Hグループ：今まで、まかせっきりでごめんなさい。次は、僕がサポートする。

教師：なるほど。みなさんは、おばあちゃんに感謝の気持ちやこれまでの自分の行動の反省から、そのような行動を取ったと考えたんだね。

しかし、僕は、なぜ、黙って並んで草抜きをしたのでしょうか？おばあちゃんに、「僕がやるからいいよ。」って言わずにそのような行動をしたのは、なぜなのでしょう？

生徒D：いっしょにやるのが良いと思ったから。

生徒E：これからは、支え合っていきたいから。



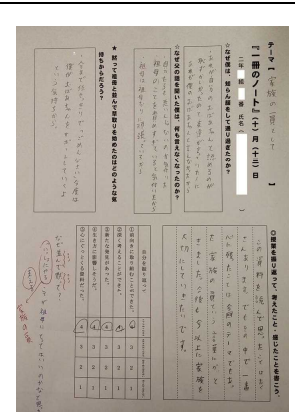
□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

グループごとにホワイトボードに意見を集約していくことで、自分の気付かない道徳的な価値に触れさせた。また、4人ずつの8グループでの話し合い活動にも時間をかけた。また、主発問では、感謝の気持ちや謝罪の気持ちが出るであろうと考え、さらに深めるために追発問として「なぜ黙って並んで草抜きをしたのでしょうか？」を入れた。そのことで、「いっしょに」という言葉を、生徒から引き出せた。家族に感謝することはもちろんであるが、ともに歩いていくという側面を引き出すことができた。

(3) 終末 授業を振り返って、考えたこと感じたことを書く。

生徒の記述から

- この資料を読んで思ったことは、たくさんあります。でもその中で一番心に残ったことは、今回のテーマでもあった家族の一員という言葉です。グッときました。今後も今以上に家族を大切にしていきたいです。
- この話の主人公が、少し自分の姿と重なって見えました。私も祖母や祖父に冷たい態度をとってしまうことがあります。これからは、もっと相手の気持ちを考え、素直な心をもって接するようにしたいと思います。



□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

本時に学んだ価値を自分の言葉で表現させるために、授業後の感想を必ず書かせている。また、毎時間、ワークシートには「自分自身をふりかえって」という項目を設けて、資料や価値について簡単に数値化させた。

### 3 実践を振り返って

「私たちの道徳」の読み物教材は、とても魅力的である。今までの生徒の感想では、「内容にグッときた。」と書かれているものも多い。魅力的な内容だからこそ、教師がしっかり読み込み、発問を精選して、授業を組み立てなければならないと感じている。「一冊のノート」の授業の感想の中に、「家に帰って、今日の授業のことを家族に話したい。」と書いている生徒がいたのが、心に残った。